

東京都防災会議幹事会
議事概要

開催日時	平成 29 年 2 月 1 日（水） 16 時 00 分～17 時 03 分
場 所	都庁第一庁舎 防災センター
出席者	東京都防災会議幹事（代理含む） 57 名
議 題	（１）「平成 28 年熊本地震 支援の記録」について （２）その他
要 旨	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>（１）「平成 28 年熊本地震 支援の記録」について</p> <p>○（事務局）資料 1 に基づき、事務局より説明</p> <p>（２）その他</p> <p>①熊本地震の教訓等を踏まえた、今後の各局等の取組について</p> <p>○（総務局）東京都災害対策本部の機能強化や発災時の応援受入体制について、現在本格的な検討に着手している。また、物資輸送体制の整備に向け、区市町村と意見交換を開始しており、罹災証明書の迅速かつ的確な発行体制の構築に向けては、昨年秋に協議会を設置し検討を進めている。新たな取り組みとしては、女性の防災に関する人材の育成や女性視点の防災ブックの発行に向けた検討を進めていく。</p> <p>○（福祉保健局）災害時のこころのケア体制について、昨年 1 1 月、関係団体や学識経験者の方からなる東京都災害時こころのケア体制（東京 DPAT）連絡調整会議を立ち上げ、こころのケア体制に係る支援活動期間、指揮命令、人員・資機材等について具体的な検討を進めている。</p> <p>○（都市整備局）建築物や宅地の応急危険度判定の一層の推進のため、判定士の確保や個々の技能の向上に努め、判定業務の迅速で的確な実施を図る。</p> <p>○（生活文化局）今後、東京ボランティア・市民活動センターの体制を強化し、情報収集発信をルール化し、ワンストップで災害時のボランティア情報を迅速に発信できるようにしたい。また、ボランティアと被災者のニーズをマッチングさせる人材（コーディネーター）の養成について、引き続き、毎年 200 名以上養成していきたい。</p> <p>○（環境局）円滑な災害廃棄物処理体制の構築に向け、専門家を熊本に派遣し、詳細な調査を実施している。これらを基に、自治体間の広域的な相互補完や廃棄物処理業者等との連携方法などを盛り込んだ災害廃棄物処理計画</p>

の策定に取り組んでいる。

- （水道局）受援面では、昨年11月に仙台市と受援に関するコーディネーターの役割を相互に担うための覚書を締結。全国の大都市の水道事業者間では初の取組となる。支援面では、既存の応援派遣のマニュアルや体制を、より迅速かつ円滑に派遣が可能となるよう整備を行っている。
- （下水道局）毎年取り組んでいる局防災訓練に今年度初めて受援の視点を盛り込み、組織間の役割分担等を検証した。発災時の応援要請の規模や応援部隊の基地の設置場所等についてのシミュレーションを実施した。今後も迅速な応急復旧体制を構築できるよう訓練・検証を重ねていく。
- （建設局）現在、7期目の無電柱化推進計画と2020年に向けた実行プランに基づき無電柱化を推進している。「実行プラン」では、無電柱化推進条例案（仮称）の策定、都道全線での新設電柱の禁止、区市町村の無電柱化事業に対する支援の拡充を計画しており、今後も東京の無電柱化を強力に進めていく。

< 質疑・発言 >

- （陸上自衛隊）都の今後の取組を伺うことができ、有意義だった。発災時に備えて日頃から関係機関等としっかり連携したい。熊本地震では陸上自衛隊の第1師団は被災者等の協力も得ながら各種災害派遣活動を遂行した。被災地の活動拠点は、使える予定の場所に住民の方がいたり、調整に時間がかかるなどの状況が見られた。東京都では、現在、都と連携して活動拠点について調整しているが、今後さらに密に連携して円滑な災害派遣につなげたい。
- （総務局）活動拠点については、調整した内容などを対処要領等に盛り込んでいく。また、昨日は首都直下地震を想定した図上訓練を実施したが、こうした訓練を繰り返していくことが重要と考えている。引き続きよろしくお願ひしたい。

②関東地方整備局の取組について

- （関東地方整備局）TEC-FORCEの概要及び熊本地震等における活動状況について説明。

< 質疑・発言 >

- （建設局）平成27年の鬼怒川の氾濫による洪水被害の際の、TRC-FORCEの対応について、ご教授願ひたい。
- （関東地方整備局）7つの地整等で支援を実施した。具体的には、排水活

動、排水活動のための道路の警戒、二次被害防止の土砂撤去等を実施。9月9日から1月15日まで、延べ2,337人のTEC-FORCEを関東からも派遣し、各自治体を支援した。

③災害用伝言ダイヤル等について

○（NTT東日本）災害用伝言ダイヤル及び災害用伝言板（機能追加の内容等）について説明

<質疑・発言>

○（東京消防庁）災害用伝言ダイヤルの利用促進に向けた取組があれば教えていただきたい。

○（NTT東日本）体験利用日ということで、毎月1日と15日が体験日となっており、他にも防災とボランティア週間の1月15日から21日、防災週間の8月30日から9月5日など体験利用が出来るよう、171を開放している。また、テレビでの発信、自治体の防災訓練での体験ブース設置などを通して利用促進を推進している。

○（KDDI）皆さんご存知かもしれないが、災害用伝言板はドコモならドコモしか使えないとか、検索ができないと言う方がいるが、今登録すると、事業者関係なしに安否を確認できるので、ご理解をお願いしたい。事業者連携しているので、電話番号が分かれば、どの事業者でも検索ができるし、安否が確認できるので、ご参考にしていただければと考える。

3 閉会